

特集**GATB、VRTをいかに活用するか
／高校生編**

高校生は、自分の生きている時代や環境——世の中はどうなっているのかを理解し、その中でこの先自分がどのような仕事をし、どのように生きていったらよいのかを考え、不安や期待とともに様々なことを感じながら、悩んだり迷ったりする時期にいます。

価値観が形成されつつある途上にあり、同じ年齢でも生徒一人ひとりが違った段階にいて、違った環境に置かれ、それぞれの個性も多様です。

高校生のキャリア教育、進路指導は、まずは本人の自己理解と職業理解をサポートすることが大切です。そのための材料を提供するものとして、厚生労働省編一般職業適性検査(GATB)と職業レディネス・テスト(VRT)は、長年定評のあるツールです。

今号では、GATBとVRTを実施し、フィードバックする際の具体的な事例を、いかに現場で活用して生徒への指導・支援に役立てればよいかを考えていただく参考としてご紹介します。あなたが担任教師・支援者だった場合、どのように検査の結果を捉えてどのように生徒に伝えるか、考えてみてください。



表紙写真●東京都立小松川高校における「『職業調べ』発表会」同校ではキャリア教育の一環として、社会人による講演会や職業レディネス・テスト(VRT)の実施のほか、1年の夏休みにグループごとに興味のある職業人にインタビューし、2学期に全員で「職業調べ」の発表会を行う。生徒が主体的に運営し、各グループの発表にも工夫が凝らされている。(写真は昨年度の様子／小松川高校提供)

特集

GATB、VRTをいかに活用するか／高校生編 ————— 3

●厚生労働省編一般職業適性検査(GATB)
自分は何が得意なのか能力的特徴を知る ————— 4●職業レディネス・テスト(VRT)
パーソナリティ・タイプを手がかりに職業を探る ————— 8**連載**●わが社の人材開発
様々な人材育成施策を構築し、
社員のエンプロイアビリティを高める
コネクシオ株式会社 ————— 16●企業研修の現場から 10-1
人材マネジメントのパラダイムシフトに向けて
(1) 経営課題解決のためのプラットフォームとして「経営人材育成研修」を位置づける
田沼泰輔 株式会社ダイバリティ総合研究所 代表 ————— 17●職業能力開発の現場から
設置から58年 秩父地域の公共職業能力開発施設
埼玉県立熊谷高等技術専門校 秩父分校 ————— 18●キャリアセンター通信
就職支援からキャリア教育へ
～全てを知ったうえで自分の進むべき道を決めるために～
東北公益文科大学 ————— 19●キャリア指導の現場から ㉞
主体性を育む
千葉吉裕
東洋大学経営学部 非常勤講師／公益財団法人 日本進路指導協会 理事・調査部長 ————— 20●スクールカウンセラー風便り 第41回
天使が悪魔に変わるとき
—子どもたちの自己肯定感を考える その6—
金屋光彦 東京都スクールカウンセラー (公認心理師／臨床心理士) ————— 21●キャリアカウンセリングの現場から 25-1
好きを仕事にすること
佐藤寿子
専門学校日本デザイナー学院／日本写真芸術専門学校 学生課キャリアセンター
2級キャリアコンサルティング技能士／国家資格キャリアコンサルタント ————— 22**読者アンケート & 当会発行図書プレゼント!**

編集部では、今後の誌面作りに役立てるため、読者の皆様の声をお待ちしております。WEB アンケートへご協力いただいた方に、ご希望の図書を差し上げます。詳しくはこちらにてご覧ください。

<http://www.koyoerc.or.jp>

QRコードからもアクセスできます。
(一部の携帯電話は対応していません。ご了承ください。)

